

「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会 (TEL 0721-54-1700)

平成 28 (2016) 年 11 月・第 13 号

☆**11月1日(火)から河内長野市ブルーカードシステム(休日夜間病状急変時対応システム)がスタート。本システムの概要は次頁の通り。「ブルーカード」発行のためには、「登録医」の申込みが必要。現在「登録医」の登録申込みを随時受付中。詳細は下記まで連絡を！**

◎**ブルーカードシステム導入に向けた専門職説明会**：10月12日(水)開催(於・河内長野市医師会館)
外山副会長から、開会挨拶の後、本システム導入の経緯、概要、「ブルーカード」発行の具体的な流れ等について、逐次説明があり、これらを踏まえて質疑応答。その中で、特に①本システムは、現行の救急システムを壊すものではない、②あくまでも連携病院、協力病院、救急隊はその裁量の下で動いて貰う、③「ブルーカード」は受診時のパスポートみたいなもので、個人情報の結果として付加されてくるものと考えてほしい等の事項が強調された。他に、「まちのれんけい室」や「れんけいカフェ」の開設意図、今後の展望等について説明。参加 83 名。

◎**「れんけいカフェ」**：第 1 回・10月26日(水)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)。参加 20 名。
「地域ケア会議」のメンバーが参集して、「河内長野市多職種連携のためのれんけいエチケット集」の編集会議として開催。他に、医師への連絡方法やサービス担当者会議のあり方等が話題に上った。
なお、「エチケット集」というのは、特定の相手を不快にさせないためのエチケットや相互に知っておきたいマナー等を文章化したもので、環境の違う多職種の連携のために編み出されたツール。

◇**河内長野市との懇談**：10月4日(火)、10月27日(木)に保健福祉部の担当者と喫緊課題について協議。10月19日(水)、浦山宣之市議会議員が来室し、医療介護問題等について意見交換。10月21日(金)、河内長野市消防本部・消防署を訪問し、ブルーカードシステム導入に向けた打合せを行った。また同日、社会保障施策を更に推進させるためには、市議会の理解と協力は必須との観点から、三師会長が揃って、木ノ本 寛河内長野市議会議長に、「地域ケア会議」傍聴に関する要望書を提出。

□**「大阪府在宅医療推進事業 在宅医療担当者会議」**：9月29日(木)開催(於・大阪府医師会館)
当日は中尾正俊副会長(大阪府医師会)の挨拶、宮川松剛理事(大阪府医師会)の今年度事業の説明、アンケート調査結果の報告、意見交換など。今年度の在宅医療推進コーディネータ実施は 38 地区医師会。事業推進にあたっては、「人材の確保」が課題と。

□**「第 2 回在宅医療推進コーディネータ研修会」**：10月12日(水)開催(於・大阪府医師会館)
東淀川区、堺市、泉大津市の 3 医師会からこれまでの取組み状況等の報告があり、意見交換。その中で「本コーディネータ活動は介護連携事業と重なる部分もあり、その実行が難しかった」との述懐もあった。今後「在宅医療・介護連携推進事業」進展との兼ね合いが注目される。最後に、前川たかし理事(大阪府医師会)は「医師の参加や訪問看護との連携を促すのはコーディネータの役割。地区の特徴に応じた活動を期待している」と締め括った。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL: 54-1700 FAX: 54-1567>
<メールアドレス: chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>